

平成22年度	施設名(愛称名)	下田市立中央公民館	番号	26
--------	----------	-----------	----	----

**平成22年度**

# **施設評価調書**

**施設の名称……中央公民館**

**所管担当課……教育委員会生涯学習課**

**平成22年7月**

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立中央公民館	番号	26
--------	----------	-----------	----	----

## 施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立中央公民館		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係								
3 所在地	下田市4丁目6番16号		4 設置年月	昭和63年4月1日								
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ 人財づくり		自ら学ぶ歴史のまちづくり		生涯教育							
	施策体系		学習環境の整備		学習施設の整備・充実							
	主要事業		公民館活動推進事業		地域に密着した学習プログラムの実施							
6 設置目的	社会教育法第20条の目的を達成するため 第20条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。											
7 設置根拠	下田市立公民館設置管理条例											
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 1,453.71 m <sup>2</sup> 建物面積 1,117.89 m <sup>2</sup> 構造 鉄筋コンクリート2階建て										
		多目的ホール兼大会議室 中会議室・小会議室・和室・調理室										
	実施事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館講座の実施</li> <li>市民大学講座の実施</li> <li>その他「社会教育法第22条（公民館の事業）」に基づくもの</li> </ul>										
	料金体系	料区分	会議室等使用料 多目的ホール兼大会議室・中会議室・小会議室・和室・調理室									
		主な料金	名称	使用単位	午前(9:00~12:00)		昼間(13:00~17:00)		夜間(18:00~21:00)			
					普通	入場料	普通	入場料	普通	入場料		
					多目的ホール兼大会議室	一回につき	2,000円	4,000円	2,000円	4,000円	3,000円	6,000円
					中会議室		1,000円	2,000円	1,000円	2,000円	2,000円	4,000円
					小会議室		1,000円	2,000円	1,000円	2,000円	2,000円	4,000円
	和室	1,000円	2,000円	1,000円	2,000円		2,000円	4,000円				
調理室	2,000円	-	2,000円	-	3,000円	-						
減免内容	(使用料の免除) <b>第10条</b> 市長は、特に必要があると認めるときは、別表に定める使用料を減免することができる。 (1) 市の主催で使用するとき、又は国の機関若しくは地方公共団体が市と共催で使用するとき。(全額) (2) 公共的団体の主催で法第20条の目的に基づき住民のために使用するとき、又は市内の保育所、幼稚園若しくは小・中学校の主催で、園児、児童、若しくは生徒の教育のために使用するとき。(全額) (3) 公立小・中学校(市内の公立小・中学校を除く。)若しくは公立高等学校の主催で、その目的が教育のために使用するとき、又は委員会が認めた社会教育関係団体の主催で、その目的が当該団体の設立目的のために使用するとき。(5割減額) (4) 国の機関又は地方公共団体の主催で、その目的が公共のために使用するとき。(3割減額) (5) 全各号に掲げるもののほか、市長が特に必要があると認めるとき。(3割減額)											
利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無											
施設運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営											
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者										
	<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容										
直接従事職員	下田市職員数 館長 1名(生涯学習課長兼任) 常駐管理人 1名											
9 市内の類似施設	下田市所有	他11公民館(社会教育法の規定による施設)										
	民間所有	地区集会所等(自治会管理の地域コミュニティ施設)										

平成22年度	施設名(愛称名)	下田市立中央公民館	番号	26
--------	----------	-----------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:千円)	取得費及び財源内訳		平成21年度末残高		(備考) 減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価格1円 ・ 新築翌年度から償却 ・ 耐用年数50年 ・ 建物経過年数21年	
	土地取得費		土地残高			
	建物取得費	181,059千円	建物減価償却後残高	105,014千円		
	財源内訳		減価償却費=取得価格*償却率=3,621,1180			
	国・県支出金					
	市債	千円	市債残高	0		
	一般財源					
	寄附金等					
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高				
※中央公民館は県で保健所として使用していたものを、市で譲受け公民館として使用しているが、県より譲渡された当初の資料の所在が不明なため土地取得費等は不明。						
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H19年度決算 (中央公民館)	H20年度決算 (中央公民館)	H21年度決算 (中央公民館)	H22年度予算 (12公民館)
	収入	使用料	961,000	895,600	887,200	1,800,000
	収入合計		749,500	961,000	887,200	1,800,000
	支出	1節 報酬	5,002	4,500	0	1,552,000
		7節 賃金	417,850	417,850	424,700	1,699,000
		8節 報償費	0	15,000	14,000	349,000
		9節 旅費	2,877	1,798	6,546	166,000
		11節 需用費	2,616,597	2,629,562	2,751,555	6,224,000
		消耗品費	204,284	185,141	124,309	380,000
		印刷製本費	46,898	5,705	0	10,000
		光熱水費	2,073,529	2,119,981	1,700,705	5,163,000
		下水道費	62,706	7,276	99,949	140,000
		燃料費	10,308	3,710	0	31,000
		修繕料	218,872	307,749	826,592	500,000
		12節 役務費	263,143	265,736	353,191	1,024,000
		13節 委託料	258,266	388,419	382,247	879,000
		14節 使用料	32,736	33,136	32,736	202,000
	19節 負担金	13,609	13,585	13,558	185,000	
	支出合計		3,610,080	3,769,586	3,978,533	12,280,000
	減価償却費		3,621,180	3,621,180	3,621,180	11,784,111
市債利子		0	0	0		
事務に係る市職人件費		158,259	158,377	166,524	2,029,320	
下田市負担年間総経費		6,428,569	7,549,143	6,879,037	25,222,296	
備考	○ 人件費は、1公民館を1/20人工として、職員人件費平均から算出したもの ○ 事務に係る市職人件費=(職員人件費÷職員数)×1/20人工×公民館数					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H19年度決算	H20年度決算	H21年度決算	H22年度
		利用者数	24,684人	22,965人	23,269人	人
		参考:利用単位当たり市負担額	260.43円	290.08円	295.63円	円
	休館日	祝日、12/28から1/3まで				
	使用時間	午前9時から午後9時まで				
13 利用者満足度調査	実施の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		調査結果		
	直近の実施時期					
	調査手法					
	調査数					

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立中央公民館	番号	26
--------	----------	-----------	----	----

## 業績評価

### 1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	利用者数の目標値	人	26,700人	26,700人	26,700人	26,700人
	〃の実績	人	24,684人	22,965人	23,269人	
	目標達成度	%	92.45	86.01	87.15	
選択した指標	<input type="checkbox"/> 成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由					
	施設設置目的の「住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与」を計ることが困難であるため、施設利用者数を使用する。 利用者数は直近の最大利用者数を目標値として設定した。 (直近最大利用者数…平成17年度利用者数 / 26,738人 ≒ 26,700人) ※100人未満切り捨て					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標	施設利用者数				

(参考)

活動指標（施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標）

活動指標			区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
活動指標①	目標指標	公民館講座受講者数（実数）	目標値	人	20人	65人	40人	—
		定期開催と単発的な事業との参加者実数	実績値	人	0人	38人	16人	
			達成度	%	0%	58%	40%	
	目標指標の考え方	公民館講座は利用率向上を目的としたものではなく、必ずしも達成度を検証する数値になるとも限らないが、施設設置目的に沿った主催事業であるため活動指標として設定する。 目標値は講座の募集定員数とする。						
活動指標②	目標指標	市民大学受講者数（延人数）	目標値	人	2,000人			
		定期開催、複数講座の参加者延べ人数	実績値	人	1,014人			
			達成度	%	50.70%			
目標指標の考え方	市民大学は、教育委員会が生涯教育を推進するために広く市民に学習の場を提供する事業で、当初から中央公民館を拠点に優先的に施設活用していることから指標として設定する。							
活動指標③	目標指標	社会教育関係団体利用者数	目標値	人	11,900人	13,100人	13,900人	13,900人
		施設利用者数のうち社会教育関係団体の利用人数	実績値	人	13,114人	13,951人	13,483人	
			達成度	%	110.20%	106.50%	97.00%	
	目標指標の考え方	社会教育・生涯学習行政を推進していく上で、社会教育関係団体の自主的な活動は重要視される。活動拠点は集合しやすさから市中心部に偏りがちではあるが、公民館が社会教育施設として活用されている一つの指標として設定する。直近の最大値を目標値として設定。 ※100人未満切り捨て						

平成22年度
--------

施設名（愛称名）	下田市立中央公民館
----------	-----------

番号	26
----	----

## 2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	施設の総利用者数等①		人	24,684	22,965	23,269	
	年間経費②	施設の事業費・運営費及び人件費の合計額	円	3,768,339	3,936,051	4,145,057	
	利用単位当たり経費	②÷①	円/人	152.66	171.39	178.14	
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等に用いた指標について記載してください。	総利用者数を年間経費で割り返して、効率性を計る。	備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。		年間経費には市債利子、減価償却費を含まない。			

その他の指標			区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
目標指数①	目標指数	光熱水費	目標値	円	1,761,000	1,969,000	2,013,000	2,013,000
			実績値	円	2,073,529	2,119,981	1,700,705	
			達成度	%	117.75	107.67	84.49	
目標指数の考え方	電気、ガス、水道の料金を節約することで効率性を計る。 ※社会情勢の変動により、使用料金も増・減額されることがあるため、一概には達成度を判断することはできない。 目標値算定：直近の最大使用料の95%を目標数値とする。 (直近最大使用料…平成20年度使用料2,119,981円) ※1,000円未満切り捨て							
目標指数②	目標指数	消耗品費	目標値	円	252,000	252,000	252,000	252,000
			実績値	円	148,396	204,284	124,309	
			達成度	%	58.89	81.07	49.33	
目標指数の考え方	消耗品費を節約することで効率性を計る。 目標値算定：直近の最大料金の90%とする。 (直近最大料金…平成17年度消耗品費 280,427円) ※1,000円未満切り捨て							
目標指数③	目標指数	委託料	目標値	円				
			実績値	円	258,266	388,419	382,247	
			達成度	%				
目標指数の考え方	目標値算定：委託料については法律等で定期的に点検・報告することを義務付けられているため、公民館を維持管理する上で削ることはできない。							

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	①有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	3,768,339	3,936,051	4,145,057
	②受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	961,000	895,600	887,200
	③受益者負担比率	②÷①	%	25.50	22.75	21.50
	④補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円	3,663,500	3,239,600	2,595,000
	⑤補正受益者負担比率	④÷①	%	97.22	82.31	62.61

### 【参考】

運営に掛かる税負担(市民負担)	年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度(予算)
	人口(4月1日：人)	26,197	25,802	25,549	25,217
	人口1人あたり(円/人)	107	118	128	
	年間総経費	245	258	269	

平成22年度	施設名(愛称名)	下田市立中央公民館	番号	26
--------	----------	-----------	----	----

## 施設の現状分析

判断視点項目			施設の状況	
施設方向性の判断視点	① 施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	社会教育法第20条の設置目的に沿った利用がされている。	
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	公民館事業や地域住民、地区PTAの会合やイベントに活用されている。	
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めているか	旧町内にある手軽な集会施設として地域住民を始め事業所関係者にも広く活用されている。	
	② 施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどのようなものか	修繕の必要度(緊急性等)により修繕計画を立て行っている。	
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	使用申請時の窓口における意見聴取や公民館運営審議会、公民館長会議などを通じて情報を得ている。	
	③ 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	会議室の貸し出しについては文化会館、ベイステージなどと競合しているが、社会教育関係団体、学習団体等に多く活用されている。	
		民間においても十分可能な施設なのか	民間で利益を追求しない社会教育施設としての管理運営は難しいと考える。	
	④ 使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか	平成21年度の利用者一人当たりの年間経費178円/人は、住民福祉への貢献としての公的負担としては決して高い金額ではないと考察する。	
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	会議室の貸し出しに関しては立地条件から利用率は高い。	
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうか	ほぼ目標の利用者数を達成している。	
		施設の耐用年数は何年有るのか	S63建築で21年経過。耐用年数50年、耐用年数残29年。	
		施設の今後の維持経費の算定はどうか	雨漏りなど解決が難しい問題や、空調機器等不測の事態が予想される問題がある。	
行政規模からの判断視点	① 施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	最小限の経費による運営努力をしている。	
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	市内には下田市で管理している市立公民館が12館あり、現在管理の見直しを行っている最中である。立地条件や利用実績を見ても、中央公民館は今後も公民館の拠点として継続運営していくことが妥当であると考えられる。	
	② 地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	現在検討中。	
		③ 施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	社会教育施設であるため施設統合は難しい。
			老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	今後、建物の老朽化の進み具合によっては改築等を考えなければならない。
			地域、民間に譲渡できないのか	施設の規模、維持管理、施設の性質から考えると地元、民間譲渡は困難と思われる。
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	社会教育施設として運営していくには拡大することが難しい。	
その他				

平成22年度

施設名（愛称名） 下田市立中央公民館

番号 26

**見直しの方策**

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	社会教育法に基づく公民館であり行政関与が妥当であると考えている。
	受益者負担の妥当性	受益者負担の適正化を図るため、平成19年4月から条例改正後の新料金と減免規定が適用された。 数年間の据え置き期間後に改めて検証が必要と考える。
	実施主体の妥当性	会議室の貸し出しなどは他施設でも可能であるが、公民館事業は行政の役割であるため妥当であると考えている。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	市立公民館の管理については現在統廃合を進めている最中である。公民館の中でも中央公民館は下田市街地にあり、市民の利用率も高いため、今後も公民館の拠点として行政で管理していくことが妥当であると考えている。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	公民館は社会教育法に基づき運営している施設で利用率向上を目的としたものではない。
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	ボランティアで活動してくれる地域の指導者等を発掘し公民館活動に活かさないかを検討中。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	受益者負担の適正化を図るため、平成19年4月から条例改正後の新料金と減免規定が適用された。 数年間の据え置き期間後に改めて検証が必要と考える。
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	未実施
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	電話による利用受付など利便性に配慮している。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	

**平成21年度事業内容及び見直し事項**

事業内容	
見直し事項	

平成22年度

施設名（愛称名）

下田市立中央公民館

番号

26

**施設懸案事項**

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	駐車台数不足		
2	有料部分の二階集中（バリアフリーの観点から）	未調査	全面的な補修要す
3	二階雨漏り		雨漏り元の特定が困難。
4	柱上負荷開閉器の交換	794,000 円	自家用電気工作物点検で指摘有
5	PCB 機器の廃棄処理	722,000 円	運搬手数料除く
6	外壁のひび割れ補修	未調査	
7	洋式トイレの設置	未調査	
8	障害者用トイレの設置	未調査	
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

**今後の方向性**

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 充実 <input type="checkbox"/> 効率化等による見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続等 <input type="checkbox"/> 縮小等による見直し <input type="checkbox"/> 統廃合を進める	<p>（具体的な内容）</p> <p>市で管理している市立公民館が12館あり、平成22年3月31日をもって、板戸公民館が地元区へ無償譲渡されるため、今後は11公民館について、中央公民館を除いた10館の統廃合を進める。立地条件や利用実績からは、中央公民館は市立公民館の拠点として現状のまま継続していくことが望ましいものと思われる。</p>
--------	--	--